



Daiwa Logistics®

大和ハウスグループ

報道関係各位

2026年5月7日

大和物流株式会社
代表取締役社長 杉山克博
大阪市西区阿波座一丁目5番16号

製造業のノウハウを融合した「物流革新プロジェクト」を本格始動 ～「全国一貫の高品質物流」を科学的アプローチで実現～

大和ハウスグループの大和物流株式会社（本社：大阪市西区、社長：杉山 克博）は、2026年4月2日より、持続可能な成長基盤の構築を目的とした「物流革新プロジェクト」を本格始動しました。

本プロジェクトでは、横河電機の子会社である横河マニュファクチャリング株式会社の伴走支援のもと、同社の組織変革メソッドを導入し、製造業の現場で培われた高度な標準化・品質管理手法を物流オペレーションに融合させます。これにより、属人化の解消を図り、安全性と効率性を備えた水準として、より高度化した「大和物流クオリティ」を、全国どの拠点でも安定的に提供できる体制を確立。激変する物流環境下において、荷主企業様のサプライチェーンを将来にわたり強固に支えるパートナーシップの構築を目指します。



【「物流革新プロジェクト」キックオフのようす】

1. 「物流革新プロジェクト」発足の背景と目的

現在、物流業界では、デジタル基盤の構築やオペレーションの標準化などによって物流を効率化し、持続可能なシステムへの転換を図る「物流革新」の動きが加速しています。しかし、各物流拠点では、荷主側のシステムや基準に応じて個別に運用設計を求められることが多く、サービス品質や内容にバラつきが生じやすい構造となっています。

こうした課題に対し、当社では、拠点間の標準化と品質の統一を推進し、安定した物流サービスの提供を目指しています。その一環として、製造業でDXによる標準化と組織革新を実現してきた横河マニュファクチャリングの「YOKOGAWA メソッド」に着目しました。当社は、異業種である製造業の高度なノウハウを物流業界にも取り入れ、当社の全国ネットワークと融合させることで、抜本的な革新の創出を目指します。

本プロジェクトは、属人化の脱却だけではなく、現場の自律的な成長を促す「学習する組織」への進化も目的としています。今期より始動した「第8次中期経営計画」において経営基盤強化策に掲げる「最適な物流環境を具現化する現場・実行能力の強靱化」を具体化する基幹プロジェクトとして、活動範囲を全社へ広げながら取り組んでいきます。

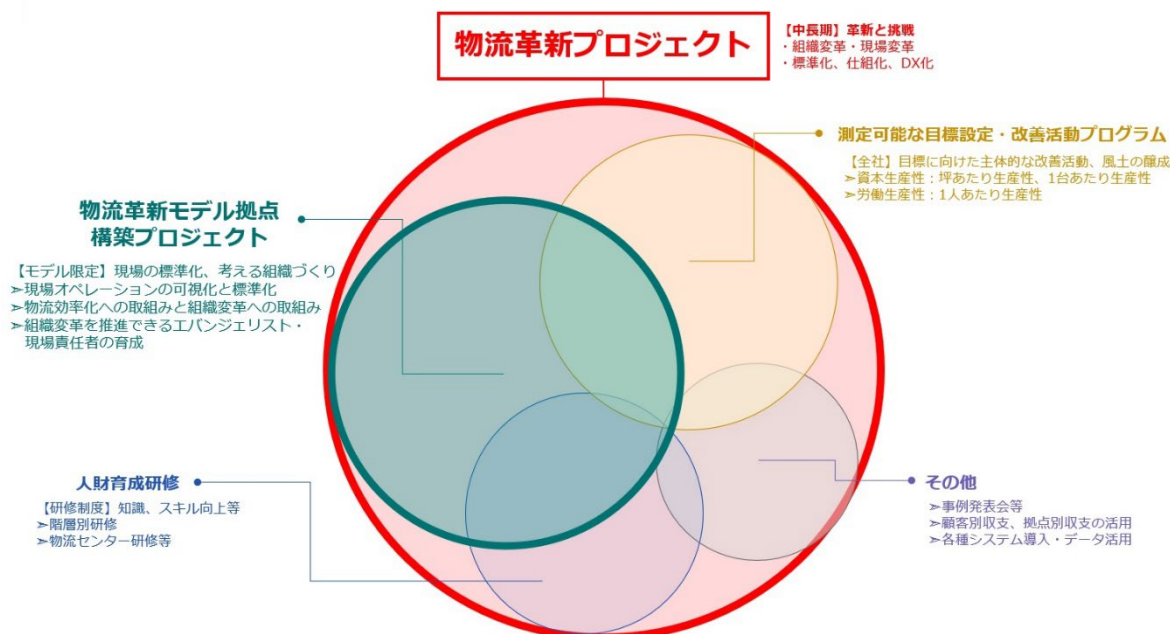
2. 取り組み内容

・フェーズ1：モデル拠点での標準化

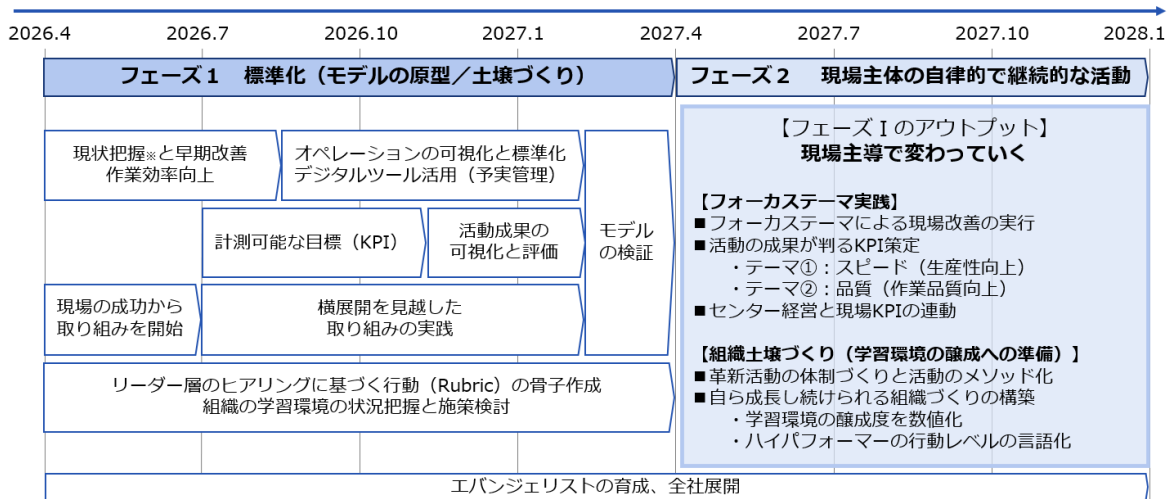
まずは土壌づくりのフェーズとして、大阪市西成区の「大阪南物流センター」をモデル拠点に選定し、属人化していた物流オペレーションの可視化と標準化を実施します。計測可能な目標（KPI）を設定し、改善活動の成果を定量的に評価・判断できる「標準モデル」を構築します。

・フェーズ2：エバンジェリストおよび現場責任者の育成

モデル拠点で構築した「標準モデル」を全社へ波及させるエバンジェリスト（伝道師）を育成します。現場やサポート部門が一体となり、各拠点が自ら変革を継続できる「自走する組織」を構築することで、人的資本経営を基盤とした組織力の底上げを図ります。



【「物流革新プロジェクト」取り組み図】



※ 現状把握: 現場でやっている事を表して、現場の課題を見つけ出す

【モデル拠点におけるロードマップ】

3. 今後の展開

今後は、モデル拠点での実証を通じて、現場の知恵を体系化した「標準モデル」を確立します。その後、育成されたエバンジェリストを核として、現場主体の改善活動を全社へ展開していきます。

本プロジェクトによる現場主体の活動を全社的な文化として定着させることで、自律的に思考し行動する「自走する組織文化」の醸成を実現します。これにより、変化の激しい市場環境下においても、強靱な現場力を構築し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

4. コメント

- 大和物流株式会社 代表取締役社長 杉山克博

— 「自走する組織」への変革を通じ、未来の大和物流を担う基盤を築く—

持続的成長には、個人の経験に頼る「属人化」を脱却し、全国で「一貫した高品質」を提供できる体制の確立が不可欠です。環境が激化する今、現場の貴重な知恵を次代へ継承するためにも、自ら学び行動する「組織文化」を創り出さねばなりません。

横河マニュファクチャリング様の伴走支援のもと、自ら学び考え行動する組織への進化と強靱でしなやかな現場力の構築を達成し、お客さまから選ばれ続ける真の物流パートナーを目指してまいります。

- 横河電機株式会社デジタルソリューション事業本部

エグゼクティブアドバイザー 勝木雅人 様

— 一人財育成と「学習する組織」への変革にフォーカスする—

大和物流様が目指す「どこに頼んでも高品質なサービス」というビジョンの実現には、現場の一人ひとりが自ら考え、行動する「学習する組織」への脱皮が欠かせません。当社の役割は、現場の皆様が持つ本来の力を最大限に引き出し、改善が日常となる文化を定着することです。今回のプロジェクトを通じて、標準化やKPI管理といった仕組みづくりだけでなく、次世代を担うエバンジェリストの育成を強力にバックアップしてまいります。現場の皆様が寄り添い、共に汗をかきながら、持続可能な強い物流拠点の構築を支えていく決意です。

●大和物流について

会社名 : 大和物流株式会社

設立 : 1959 (昭和 34) 年 8 月

本社所在地 : 〒550-0011 大阪市西区阿波座一丁目 5 番 16 号

代表者 : 代表取締役社長 杉山 克博

会社 URL : <https://www.daiwabutsuryu.co.jp/>

事業内容 : 建築・建材、電気設備、機械、アパレル、日用雑貨などの総合物流業、物流施設開発 等

当社は「最適な物流環境を心をこめてデザインする」をコンセプトに、独自の事業ブランド「Logiart (ロジアート)」を掲げ、お客さまの戦略的なロジスティクスを支える「総合物流サービス」を提供しています。長年培ってきた技術とノウハウを活かし、お客さまのサプライチェーン全体を最適化するための物流環境をデザインしてまいります。

以 上

お問い合わせ先

大和物流株式会社 経営企画部

TEL : 06-4968-6372

E-MAIL : pr.ml@daiwabutsuryu.co.jp